

省エネ型ガスセントラル給湯暖房機「エコジョーズ」 4万件達成(一戸建て)

2020.10.4
北海道ガス株式会社

省エネ型ガス給湯暖房機「エコジョーズ」

クリーンな天然ガスを使い、排熱も有効活用することで、
省エネ・低炭素化・おトクな光熱費を実現

排気の熱を有効利用し、省エネ実現

(従来)エネルギー効率 約80%

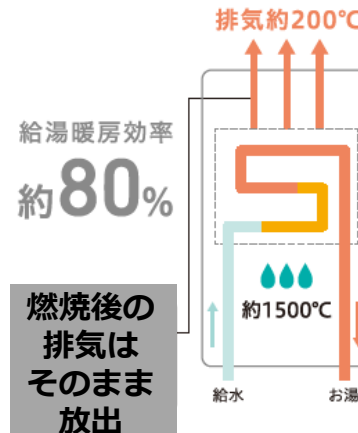
エコジョーズ：熱を二次利用

エネルギー効率

(給湯)約95%／(暖房)約89%

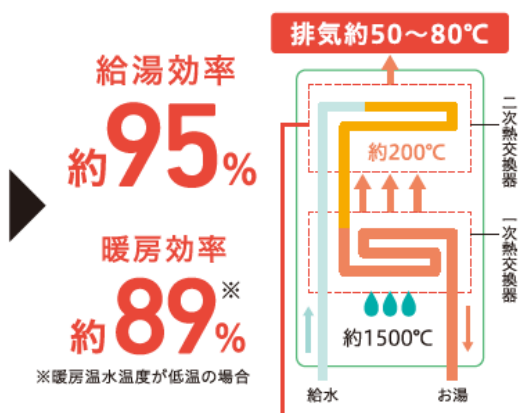
ガス使用量▲10%

従来型のボイラー



※当社シミュレーション値

エコジョーズ



燃焼後の排気の熱を二次利用

CO₂削減に貢献

高効率システムに加え、
クリーンな天然ガスの使用でCO₂を削減

他熱源と比べ、

CO₂ ▲ 0.9～▲8.0トン／年

※試算条件：天然ガスはエコジョーズ+ガス暖房、灯油セントラルは灯油給湯ボイラー+灯油暖房ボイラー+IHクッキングヒーター、オール電化は電気温水器(またはエコキュート)+電気ボイラー(またはヒートポンプ暖房)+IHクッキングヒーターを想定した場合の当社シミュレーション値(戸建住宅標準負荷)※CO₂排出係数：ガス2.29kg-CO₂/m³(2019年度北ガス公表値)、灯油2.49kg-CO₂/m³(2017年環境省・温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン)、電気(北ガス)0.605kg-CO₂/kWh(2019年度北ガス公表値)、電気(北海道電力)0.601kg-CO₂/kWh(2019年度北海道電力公表値)※電気のCO₂排出係数は、天然ガスは、北ガスの電気のCO₂排出係数、灯油セントラル及びオール電化は、北海道電力のCO₂排出係数を使用(いずれも調整後排出係数)

エネルギーシステムのCO₂排出量(トン-CO₂/年)

ECOジョーズ®

天然ガス
6.5トン

灯油セントラル
7.8トン

オール電化

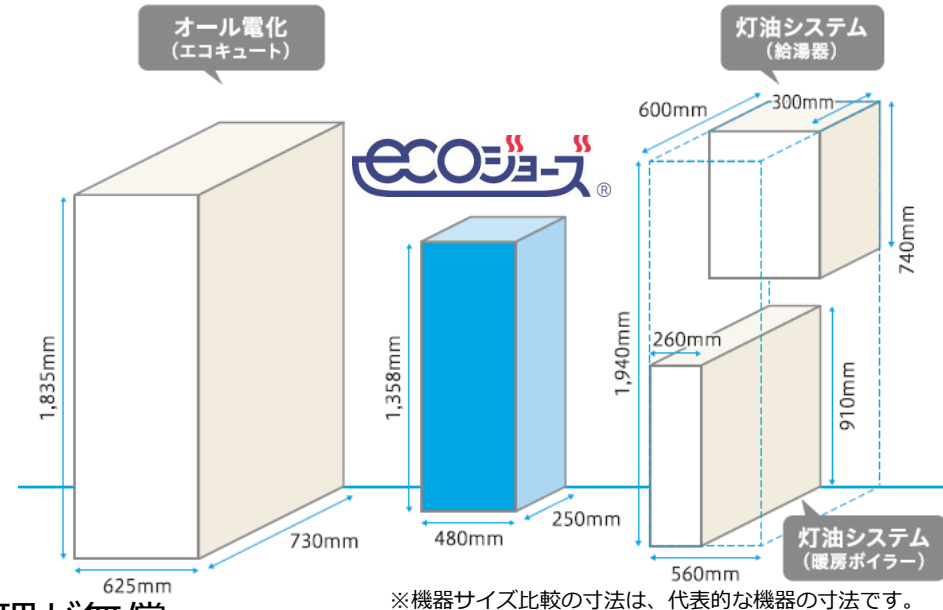
電気温水器+電気ボイラー
14.5トン
エコキュート+ヒートポンプ暖房
7.4トン

エコジョーズ 省スペース／保証制度で安全、安心

◆1台で給湯・暖房を賄う コンパクトなシステム

エコジョーズは貯湯タンクもなく、機器のサイズがコンパクトなため、他システムと比べ、省スペース。

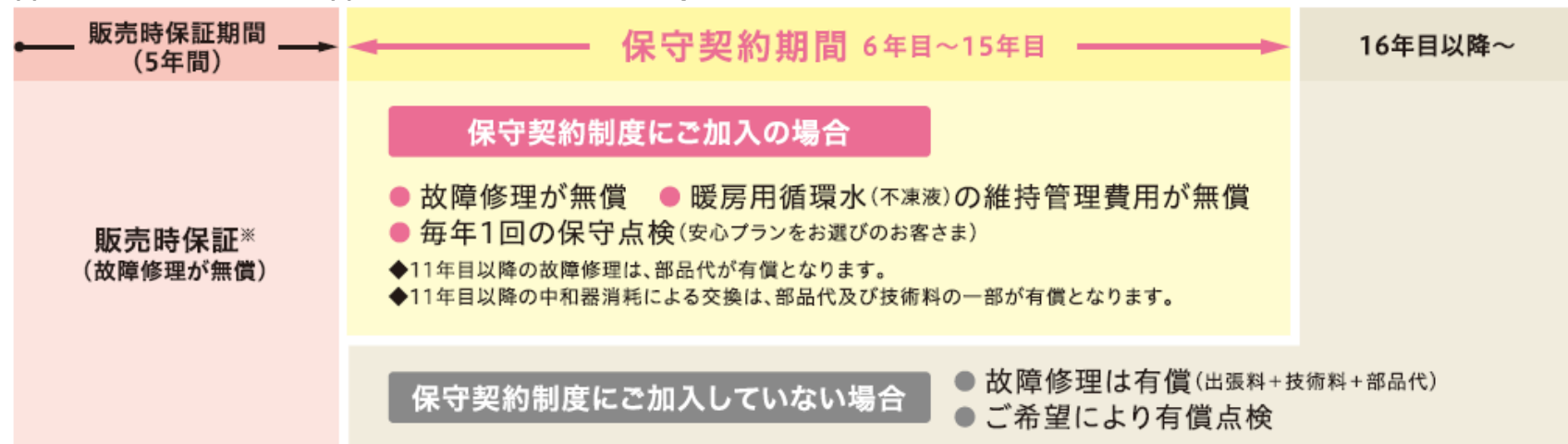
また、運転時の重量は約44kgと軽く、床の補強が不要。



◆保守制度で万一の故障時も安心

エコジョーズは設置から5年間、故障時の修理が無償。

保証期間終了後も保守契約制度（有料）により、安心して長くご使用が可能。



※北ガス販売品で、北ガスのガスを小売り供給している場合に限り。また、給湯のみのエコジョーズには適用されません。

※販売時保証は、メーカー保証と北ガス保証を合わせて5年です。

「エコジョーズ」普及台数推移・環境性

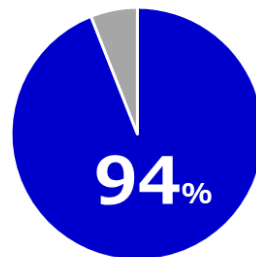
◆「エコジョーズ」の普及拡大（一戸建住宅）

【新築】 シェア94%

※2019年度実績札幌地区ガス管敷設エリア内・当社調べ

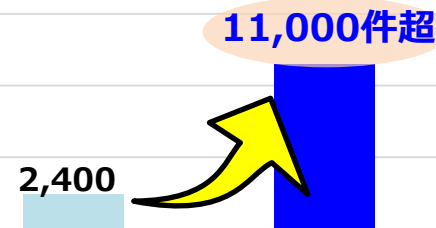
【既築】 他燃料（灯油・オール電化）からの
燃料転換が拡大
累計 11,000件超（2020年8月末）

エコジョーズシェア
（新築）



2019年度

エコジョーズ累計件数
（燃料転換）



2019年度

2020年8月

◆「エコジョーズ」普及拡大に伴う環境負荷低減(CO₂削減)

・ 累計でCO₂約 8.7万トン削減 ※従来ガスシステム比

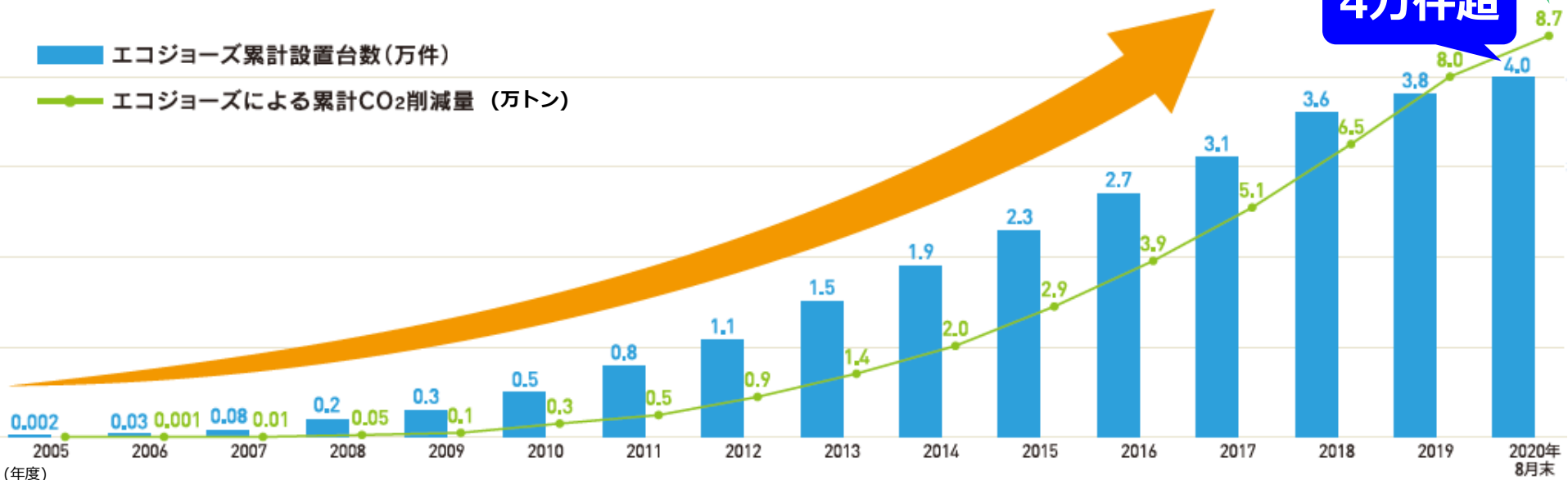
※スギの木約630万本分(札幌ドーム約1,800個分の面積のスギ林)のCO₂吸収量に相当

CO₂削減
8.7万トン

4万件超

■ エコジョーズ累計設置台数(万件)

● エコジョーズによる累計CO₂削減量 (万トン)



(年度)

(参考)北海道のエネルギー事情

- ・ 石油、石炭依存度が高く、天然ガスシェアが全国と比べて著しく低い
- ・ 世帯当たりのエネルギー消費量が多く、CO₂排出量も多い

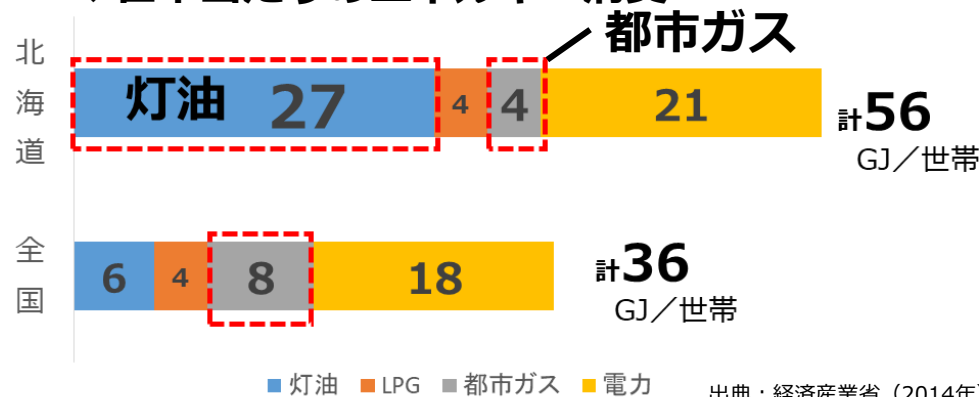
北海道のエネルギー・環境政策として、天然ガスの普及拡大が重要

◆一次エネルギーシェア



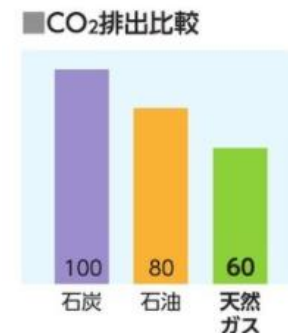
(北海道オープンデータポータル
2020年(R2) 北海道エネルギー関連データ集より 2017年度)

◆世帯当たりのエネルギー消費



クリーンな天然ガス

石炭や石油といった他の化石燃料と比べ、燃焼時のCO₂排出量が少ない、低炭素なエネルギー。



(参考)北ガス家庭用ガス販売量の伸長

- ・新築一戸建て、分譲マンションでガスセントラル給湯暖房機のシェアが好調
- ・ガス導管未整備地区への導管延伸や北ガスフレアストによる営業活動により天然ガスへの燃料転換が伸長

家庭用ガス販売量
2億m³超

◆ガスセントラル給湯暖房機

エコジョーズ 一戸建累計4万件達成、分譲マンション6期連続シェア90%越え(2019年度)

ガスマイホーム発電：累計4,800件 (2020年8月末)

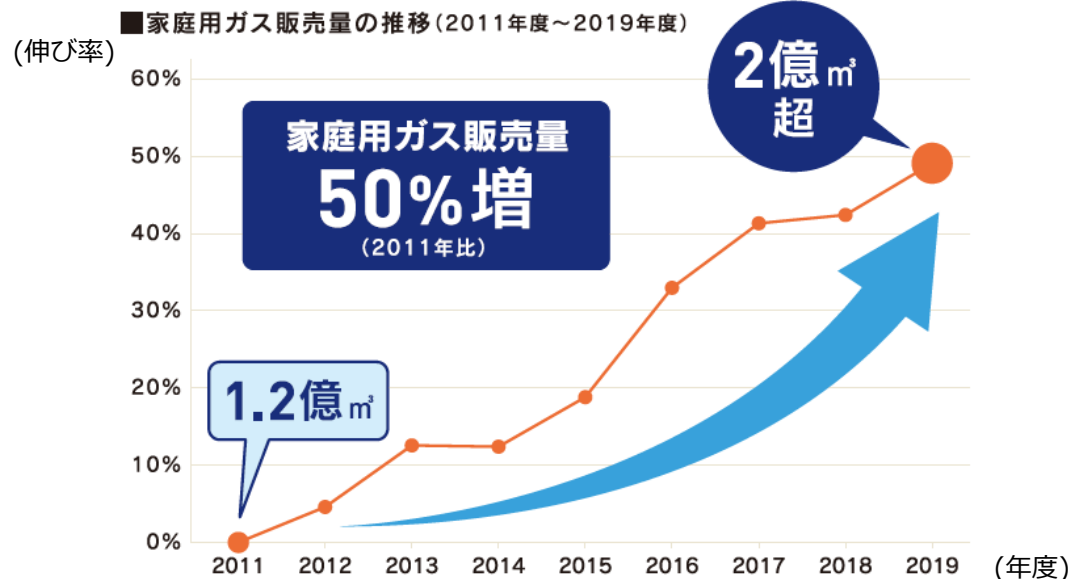
※「コレモ」による余剰電力の北ガスによる買取 3,000件 (2020年8月末)

◆ガス導管延伸 (ガス導管未整備地区への導管網拡充。2016年度より開始)

導管沿線物件 累計1,500件獲得、ガス化率24% (2020年8月末)

◆北ガスフレアストによる営業活動

灯油・オール電化からエコジョーズへの累計切り替え件数 累計11,000件 超(2020年8月末)



(参考) エコジョーズ ランニングコスト比較

機器の省エネ性に加え、おトクな料金メニューで経済的

◆「エコジョーズ」のランニングコスト

- ・対オール電化(ヒートポンプ型) : ▲ 9% (▲31,000円/年)
- ・対灯油セントラル : ▲13% (▲49,000円/年)
- ・対オール電化(従来型) : ▲40% (▲209,000円/年)

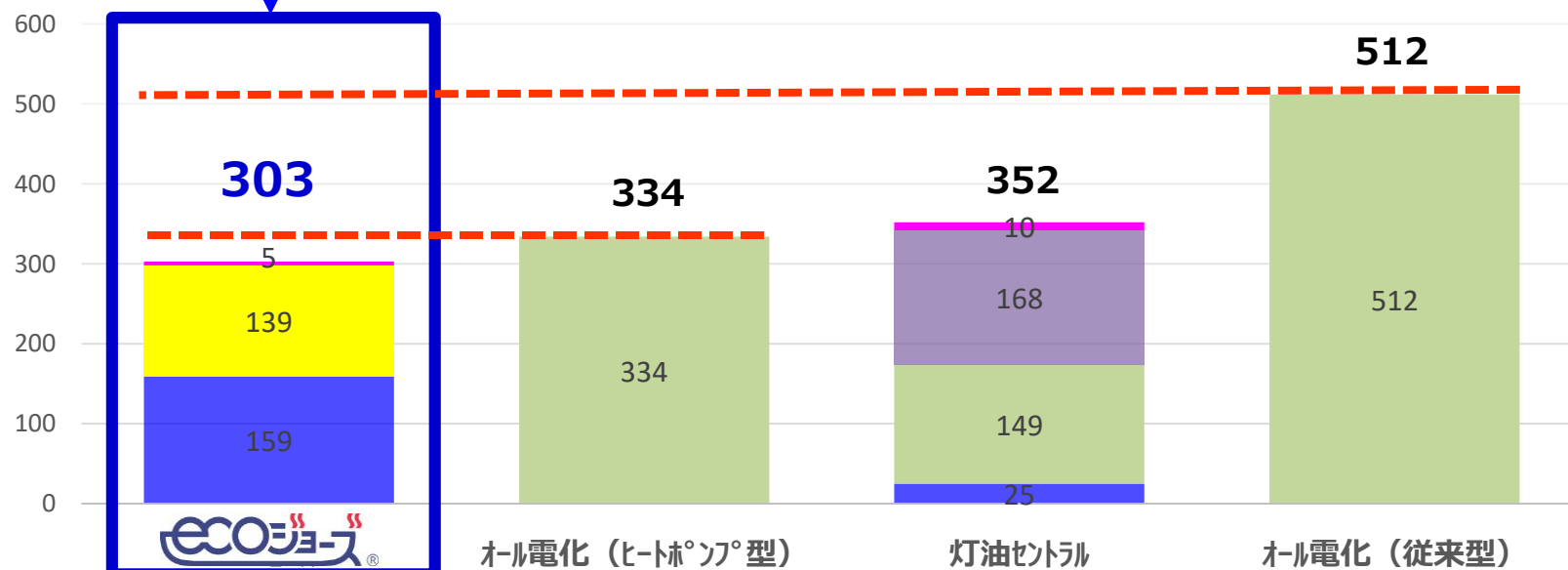
エコジョーズ
にすると…

▲31,000円
~▲209,000円

システム別 年間ランニングコスト比較

■都市ガス ■電気(北ガス) ■電気(北電) ■灯油 ■保守

(千円)



(参考) エコジョーズ ランニングコスト比較 試算条件

ランニングコスト 試算条件

●システム

〈天然ガスセントラル〉[エコジョーズ] + スマートリモコン + ガス厨房

〈灯油セントラル〉灯油給湯ボイラー + 灯油暖房ボイラー + ガス厨房

〈オール電化〉ヒートポンプ型：エコキュート + ヒートポンプ暖房 + IHクッキングヒーター、従来型：電気温水器 + 電気ボイラー + IHクッキングヒーター

●戸建住宅所要エネルギー（設定条件）

世帯人数：4人、延床面積：120m²、断熱性能(Q値)：1.6、室内設定温度：23℃、暖房時間：24時間連続、

電力負荷：普通、風呂回数（含シャワー）：7回/週 [年間：電力負荷4,300kWh、暖房負荷12,840kWh、給湯負荷5,460kWh、厨房負荷520kWh]

●料金

〈エコジョーズ〉ガス料金：北海道ガス（株）ゆ〜ぬっく24ネオ（13A天然ガス）、電気料金：北海道ガス（株）従量電灯Bプラス 40A [給湯+暖房割]

〈灯油セントラル〉ガス料金（厨房）：北海道ガス（株）一般料金（13A天然ガス）、灯油価格（給湯・暖房）：札幌市灯油平均価格、電気料金：北海道電力（株）従量電灯B 40A

〈オール電化〉[ヒートポンプ型] 厨房・給湯・暖房：北海道電力（株）eタイム3プラス（11kVA）、
[従来型] 給湯・厨房：北海道電力（株）ドリーム8（9～10kVA）、暖房：北海道電力（株）ホットタイム22ロング

※北海道ガス（株）のガス・電気料金ならびに北海道電力（株）の電気料金は、2020年10月現在の原料費・燃料費調整を含む適用単価（電気料金には2020年10月現在の再生可能エネルギー発電促進賦課金を含みます）。

※灯油価格は、77.97円/ℓ（札幌市消費者センター灯油多量配達平均価格2020年9月25日調査）

※保守料金〈エコジョーズ〉5,130円/年（購入後10年間の費用を1年分に平均して試算。機器の種類、設置条件により金額が異なる場合がございます。）

※設備費用・工事費用は含まれておりません。

※北海道ガス（株）標準モデルによる試算のため、お客さまのライフスタイル、建築条件等により変動します。

(参考) ガスマイホーム発電「コレモ」

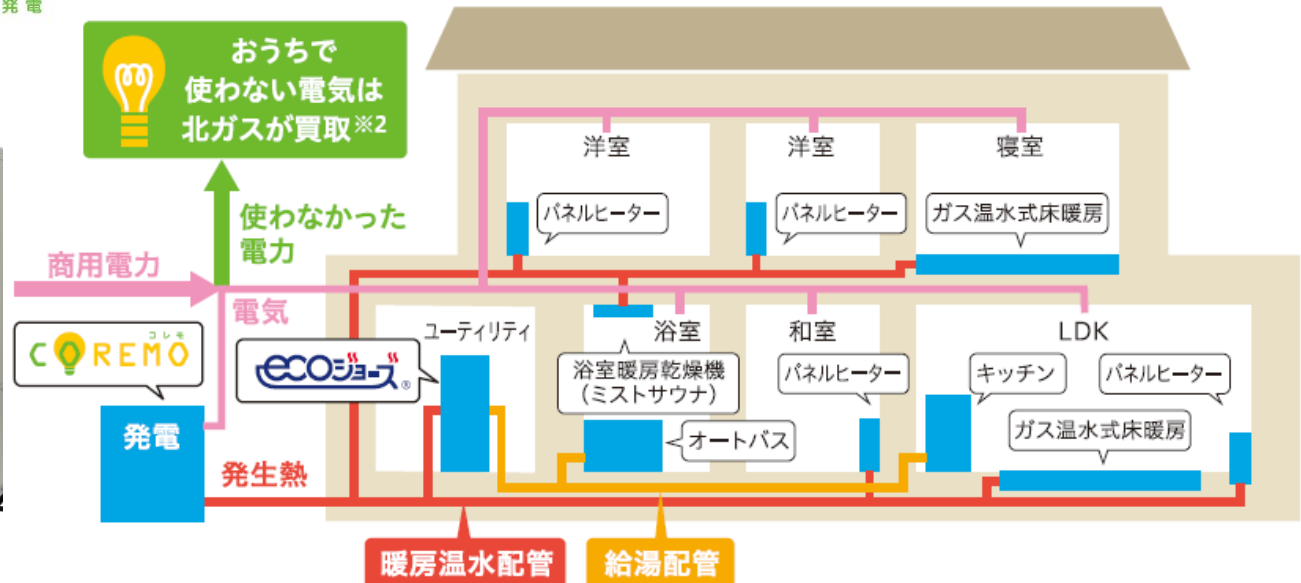


冬期に発電し、発生熱を暖房に最大限活用。

コレモはガスで発電するシステム。エコジョーズと組み合わせて、給湯・暖房エネルギーを供給。室内に貯湯タンクが不要。停電時もコレモが発電中であれば、そのまま発電を継続、かつ給湯・暖房が使用可能な災害に強い安心のシステムです。



■エコジョーズ+コレモイメージ図



※1 当社シミュレーション値

※2 北ガスが電気を買取るためには「北ガスの電気」のご契約が必要です。
太陽光発電を設置している場合、コレモの余剰電力を買取ることはできません。

(参考) 新たなガス導管網整備・拡充計画

地下鉄駅周辺など都心部を中心に普及率を80%へ

導管投資

2030年度までに100億円超
敷設距離 約330 km

2019年度実績

敷設距離：約12km

営業対象：約858件

※2016～2020年8月末累計

延伸距離：74km

獲得実績：1,500件

ガス化率：24%

